

3-5 野生鳥獣保護管理事業

事業目的

豊かな自然環境の指標ともされるツキノワグマについて、平成28年度に改定した「第三期宮城県ツキノワグマ管理計画」に基づき、生息動向を把握することにより、今後の保護管理の方策を検討します。

事業効果

CO2削減効果	-
その他(調査回数)	1回

事業内容

ツキノワグマの生息動向調査

【平成29年度事業費】5,000千円

【実施主体】宮城県

・生息状況等の調査

ツキノワグマの生息動向を調査し把握することにより、その生息数の増減に応じて適正な保護管理を行うことで、人とツキノワグマとの軋轢(あつれき)解消に向けた対策の検討を行います。

現状

大規模な調査は間隔が空いてしまいます。

県内のツキノワグマの生息数推計

平成20年度調査

中央値 633頭(最低値 401頭~最高値 896頭)



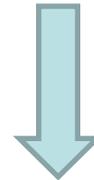
平成26年度調査

中央値1,669頭(最低値1,199頭~最高値2,147頭)

税導入後のイメージ

県内のツキノワグマの生息数推計

平成26年度調査



次回大規模生息数調査

中間で生息数の増減を予測する小規模な調査を実施し、変動を早期に把握します

